

1 フッ化物洗口の実施開始までの経過

・フッ化物洗口ガイドライン(厚生労働省)の発令・・・H15. 1. 14

健康日本21における歯科保健目標を達成するための有効な手段として、フッ化物の応用は重要である

・和歌山県民の歯と口腔の健康づくり条例の施行・・・H24. 4. 1

第9条(4)
フッ化物洗口等、効果的なむし歯予防対策の推進

H27. 7月～東海南校区4校でのフッ化物洗口の開始
* 北野上小学校はH15より既に取組を開始

3 フッ化物洗口法とは

フッ化物の水溶液(10ml)を口に含み、約1分間のぶくぶくうがい
洗口後30分間は飲食・うがいを控えることで、歯の表面に低濃度のフッ化物イオンを作用させて、歯質を強化する方法

毎水曜日、給食後の歯みがきの後
クラスの保健委員が中心となり、実施

学童期に継続して取り組むことで、積極的な健康づくりの意識や健康観の形成

歯と口の健康づくり推進が
当地域の特色に

2 フッ化物とは

* 元素名「フッ素」(F)
水や食品中のフッ素を「フッ化物」と言う

フッ化物の働き・効果

- ① 歯の質を丈夫にする
- ② 口の中の細菌の働きを弱める
- ③ できはじめのむし歯(CO)を治すことができる

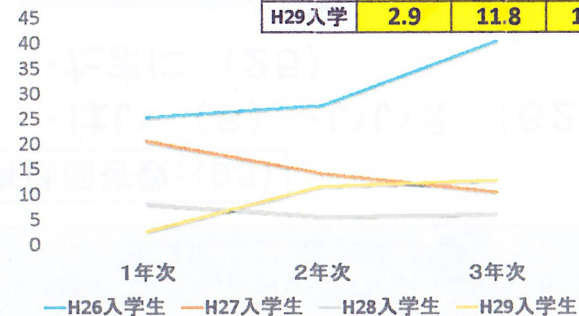


4 本校

永久歯う蝕有病者率(%)の年度比較

H27年7月～
フッ化物洗口開始

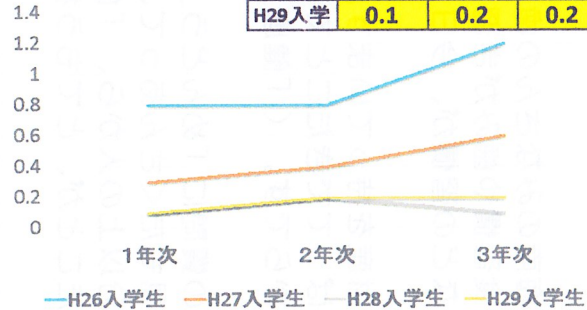
	1年次	2年次	3年次
H26入学	25.6	27.9	40.5
H27入学	20.8	14.3	10.6
H28入学	8.3	5.9	6.3
H29入学	2.9	11.8	12.9



5 本校 永久歯一人平均う歯数 (DMFT指数)の年度比較

H27年7月～
フッ化物洗口開始

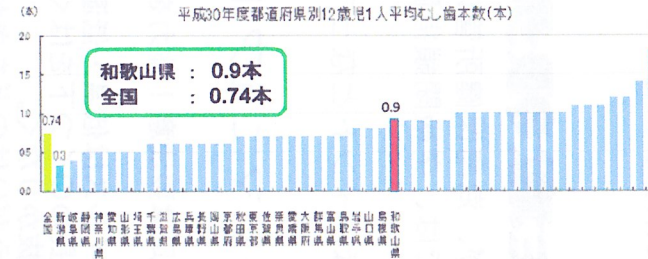
	1年次	2年次	3年次
H26入学	0.8本	0.8	1.2
H27入学	0.3	0.4	0.6
H28入学	0.1	0.2	0.1
H29入学	0.1	0.2	0.2



7 本校 12歳永久歯一人平均う歯数 (DMFT指数)の全国比較

* 31年度 東海南中学校DMFT指数
(一人平均むし歯数)

1年生	2年生	3年生	学校平均
0.15	0.26	0.16	0.19本

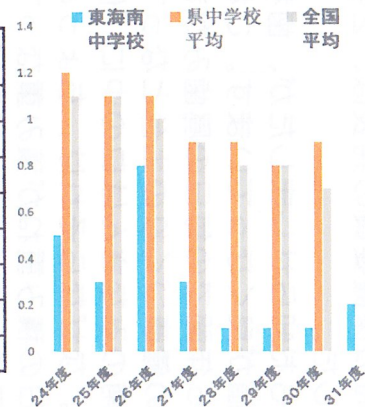


平成30年度学校保健統計調査(文部科学省)より

6 本校 12歳永久歯一人平均う歯数 (DMFT指数)の推移

	東海南 中学校	県中学校 平均	全国 平均
24年度	0.5	1.2	1.1
25年度	0.3	1.1	1.1
26年度	0.8	1.1	1.0
27年度	0.3	0.9	0.9
28年度	0.1	0.9	0.8
29年度	0.1	0.8	0.8
30年度	0.1	0.9	0.7
31年度	0.2		

(単位:本数)



8 東海南中学校 永久歯一人平均う歯数 (DMFT指数)の推移

	東海南 中学校	県中学校 平均	県高校 平均
23年度	1.7	1.6	3.2
24年度	1.2	1.6	2.9
25年度	0.6	1.4	2.7
26年度	0.7	1.3	2.5
27年度	0.5	1.2	2.3
28年度	0.6	1.1	2.2
29年度	0.4	1.1	2.1
30年度	0.2	1.1	2.0
31年度	0.2		

(単位:本数)

